

**Q1. OSS** に関する次の記述中の **a,b** に入る字句の適切な組み合わせはどれか。

**OSS** の頒布に当たっては、頒布先となる個人やグループを制限 **a**。また、**OSS** を複製したり改良したりして再頒布することは許可されて **b**。

|   | a        | b   |
|---|----------|-----|
| ア | してはいけない  | いない |
| イ | してはいけない  | いる  |
| ウ | することができる | いない |
| エ | することができる | いる  |

(情報処理技術者試験 H22 秋(IP)午前問 77)

**Q2. OSS** のみの組み合わせはどれか。

- ア Apache, Acrobat Reader, Linux カーネル
- イ Apache, Samba, Oracle JRE(Java Runtime Environment)
- ウ Acrobat Reader, Oracle JRE, Linux カーネル
- エ Apache, Samba, Linux カーネル

**Q3. パブリックドメインソフトウェアとするための条件はどれか。**

- ア オリジナルのライセンスと同じ条件を適用する。
- イ 公的機関に対して、ソースコードを公開する。
- ウ 著作権を放棄する、又は放棄の宣言をする。
- エ 著作権を留保したまま、自由な配布を認める。

(情報処理技術者試験 H21 秋(ST)午前 II 問 25)

**Q4. 著作権法の言葉でいうと、OSS ライセンスは、プログラムの何の際の許諾か。**

- ア 利用(exploit)
- イ 使用(use)
- ウ 購入(purchase)
- エ 販売(selling)

**Q5. OSS ライセンスの言葉でいうと、OSS ライセンスは、プログラムの何の際の許諾か。**

- ア 実行(execution)
- イ 再頒布(redistribution)
- ウ 発注(order)
- エ 閲覧(browse)

**Q6. プログラムのバイナリのみの頒布を禁止していない OSS ライセンスはどれか。**

- ア GNU GPL(General Public License)
- イ GNU LGPL(Lesser General Public License)
- ウ EPL(Eclipse Public License)
- エ Apache License

**Q7. OSS の機能を利用するプログラムを作製した。作製したプログラムも同じ条件で頒布することを求める OSS ライセンスはどれか。**

- ア GNU GPL(General Public License)
- イ GNU LGPL(Lesser General Public License)
- ウ EPL(Eclipse Public License)
- エ Apache License

**Q8. GPL の OSS を使い、ソースコードを開示しなかった場合にライセンス違反となるものはどれか。**

- ア OSS とアプリケーションソフトウェアとのインターフェースを開発し、販売している。
- イ OSS の改変を他社に委託し、自社内で使用している。
- ウ OSS の入手、改変、販売をすべて自社で行っている。
- エ OSS を利用して性能テストを行った自社開発ソフトウェアを販売している。

(情報処理技術者試験 H21 秋(FE)午前問 21 改)

**Q9. 特許取得したデバイスを持つ Android 搭載スマートフォンを開発し、アプリケーションプログラムはソース開示要求のあるライセンスの OSS を利用せずに作成。これを販売する際、OSS ライセンス違反となるのはどれか。**

- ア アプリケーションプログラムのソースコードを開示しない
- イ アプリケーションプログラムを Android マーケットで販売する
- ウ 特許で保護されたデバイスのデバイスドライバ(カーネル空間)のソースコードを開示しない
- エ デバイスドライバを含む Linux カーネルのソースコードは CD-ROM に格納して製品に同梱する

**Q10. ソースコードの開示が必要な多くの OSS ライセンスにおいて、開示方法として間違っているものはどれか。**

- ア バイナリコード(を含む製品)と共に対応するソースコードを添付する
- イ バイナリコード(を含む製品)に、手数料程度の金額で対応するソースコードの CD-ROM 送付の申込書を添付する
- ウ 製品窓口に要求があったら、ソースコードを提供する準備だけはしておく
- エ 製品サイトなどで対応するソースコードをダウンロードできる旨を記載した文書を添付する

**Q11. GPLv2 の OSS のソースコードを Web サイトに公開した場合、ライセンス違反ではない対応はどれか。**

- ア 製品出荷時にソースコードを公開し、バージョンアップに対応したソースコードは省略できる
- イ 製品の寿命が半年に合わせて、公開しているソースコードもきちんと半年毎に置き換える
- ウ ソースコードは印刷しやすいように PDF 形式で整形した形で公開する
- エ バイナリコードに対応したソースコードをダウンロードできるように、シリアル番号をキーにダウンロード可能とする

**Q12. 著作権法において、保護の対象となるないものはどれか。**

- ア インターネットで公開されたフリーソフトウェア
- イ ソフトウェアの操作マニュアル
- ウ データベース
- エ プログラム言語や規約

(情報処理技術者試験 H21 春(FE)午前問 78)

**Q13. 2009 年 12 月米国で、ある OSS のソースコードを開示しなかったため、14 社もの企業が提訴された。その OSS とはどれか？**

- ア Linux カーネル
- イ GCC (コンパイラ群)
- ウ BusyBox (ツール群)
- エ MySQL (データベースソフト)

**Q14. 著作者の了解を得ないで次の行為を行った場合、著作権法に照らして適法な行為はどれか。**

- ア 購入した CD の楽曲を自分の PC にコピーし、PC で毎日聴いている。
- イ 購入した CD の楽曲を自分のホームページからダウンロードできるようにしている。
- ウ 自社製品に関する記事が掲載された雑誌のコピーを顧客に配布している。
- エ 録画したテレビドラマを動画共有サイトにアップロードしている。

(情報処理技術者試験 H22 春(IP)午前問 25)

**Q15. GNU GPL のプログラム A と、自分で開発したプログラム B/C との関係について正しい説明はどれか。**

- ア A の GPL 伝播を遮断するために、B との間に、LGPL のプログラム X を挟むと GPL 伝播しない。
- イ B を A と一緒にして GPL として頒布した場合、B は GPL となり、その後、B を C の一部として頒布すると C も GPL として頒布しなければならない。
- ウ B が A の機能をサブルーチン的に利用していても、A をリンクしていなければ、B を GPL で頒布する必要はない。
- エ B を含む全体のプログラムの一部として A を頒布する場合、A のソースコードはもちろん、B のソースコードも開示しなければならない。

